

ストーリー Story

このまま日々を淡々と過ごしていくんだと思ってた。あの大皿に出会うまで—。
岡山県備前市を舞台に土と炎、そして人が織り成す感動の物語。

小山はるか(奈緒)はOLとして平凡な日々を過ごしていたある日、デパートの展示でふと目にした大皿に強く惹かれ備前焼を知った。仕事中も休日も気付けば備前焼のことばかり考えていたはるかは、言葉にできない感動を胸に岡山県備前市へ。意気揚々と大皿の作者を訪ねるも、目の前に現れたのは頑固でぶっきらぼう、職人気質な修(平山浩行)だった。しかし、ただ一人でロクロに向かう修を見て備前焼への興味はより強くなり…。勢いのままに弟子入りを志願するも相手にしてもらえないはるかだったが、見兼ねた人間国宝の陶人(笹野高史)が間を取り持ち“弟子見習い”的日々がスタートする。陶芸に真に向かい、はるかにも厳しい修だったが、そんな彼には亡き父との約束があった—。



キャスト Cast



小山はるか 役 奈緒



若竹修 役 平山浩行



若竹青 役 村上淳



焼陶人 役 笹野高史

伊部・備前焼の街



日本六古窯の一つ備前焼の産地として有名な町、備前市伊部。伊部の町には窯元、作家が軒を連ね、備前焼がところ狭しと陳列されたショップやレンガ造りの煙突、土堀をめぐらした家並みなど、古き良き風情の残る町です。駅前には備前焼伝統産業会館や備前焼ミュージアムもあり、古美術の名品から現代窯元作家の代表作品が展示され、多くのお客様が訪れています。

備前焼千年の歴史



備前焼とは、岡山県備前市周辺を産地とする焼締陶(やきしめとう)。釉薬などを一切使用せず、松割木(まつわりき)で焼かれ、絵付けもしない素朴さで自然美を楽しむことができます。古墳時代の須恵器の製法が次第に変化を遂げ作り上げられたものといわれ、備前市伊部で発展した須恵器は、鎌倉時代中期には備前焼として完成されました。

備前市観光協会 公式観光サイト
<http://bizen-kanko.com/>



岡山県備前市 ホームページ
<http://www.city.bizen.okayama.jp/>



映画「ハルカの陶」公式サイト
<http://harukano-sue.com/>

f @harukanosue t @bizeneiga i bizen_film_project



岡山・備前ロケ地マップ

ハルカの陶

土と炎と想いが作り上げた日本遺産・備前焼。陶芸の美しさに魅せられた人々の、夢と伝統を紡ぐ感動の物語。



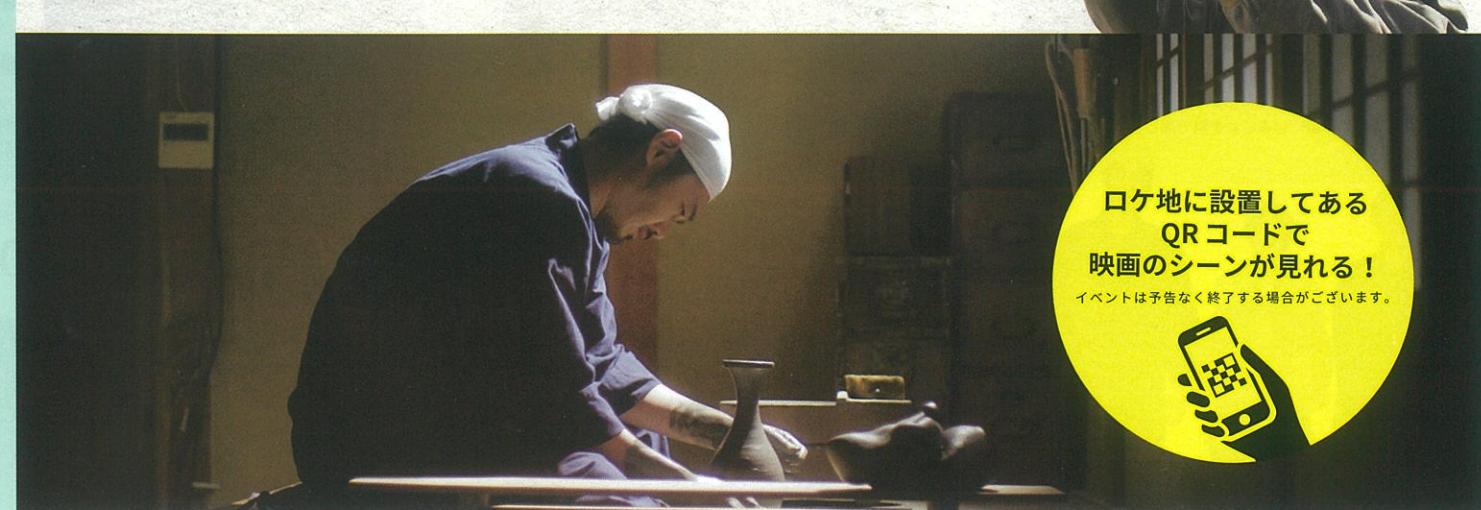
備前焼に触れる旅

千年の歴史に触れた。
新しい自分を見つめた。

奈緒 平山浩行 村上淳 / 笹野高史

村上真希 長谷川景 岡田健太郎 勝又諒平 小棹成子 八木景子

監督・脚本・編集：末次成人 音楽：佐藤礼央 主題歌：「スアートニクの夜明け」サガテン高木春菜 原作・作：ディスク・ふらい／画：西崎泰正「ハルカの陶」(文藝社)
エグゼクティブプロデューサー：末次純喜子 プロデューサー：小田官貴男 地域プロデューサー：岡部信行/内田敏香 アシエクトプロデューサー：高畠美里/狩野章代
撮影監督：Yohai Tateishi 照明：浜路俊之 録音：根本和島(JAS) 声楽：サラリジンスケ スタイリスト：中島エリカ ヘアメイク：新井はるか 助監督：向井智理 ラインプロデューサー：武田龍也
制作主任：塙口貴之 / 大賀萌生 施錆：中川正子 製作：山陽新聞社 / 同鳴ターブル 備前市尾張尾山ラントナチュラル協議会 with ICM / RSK 山陽放送株式会社 / 岡山放送株式会社 / ニューマーク株式会社
制作プロダクション：ニニーエマーク 後援：備前市 / 岡山市 配給：ブリトミディア・スクエア ©2019「ハルカの陶」製作委員会



ロケ地に設置してある
QRコードで
映画のシーンが見える！

イベントは予告なく終了する場合がございます。

2019年10月25日(金) イオンシネマ岡山 先行公開 / 2019年11月30日(土) ユーロスペースほか 全国公開